

医療薬学Ⅱ

| | | | |
|--------------|------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 臨床医化学講座 那谷 耕司 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 臨床医化学講座 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分・時間数 | 講義 18 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

医療薬学Ⅱでは、これまでに習得した正常な人体の各器官系の形態・構造と機能、代表的な症候に関する知識に加え、生化学、細胞生物学等の講義により習得した知識を基に、血液・造血器、内分泌、神経・筋、精神、生殖器等の広範囲にわたる疾患について病理、病態に重点をおいて講述する。また、これらの疾患の薬物治療、非薬物治療について概説し、個々の疾患の治療における薬物治療の位置づけについての理解を深める。

・一般目標（GIO）

血液・造血器系、内分泌系、神経・筋、精神、生殖器の疾患について、正常の形態・構造と機能、臨床検査法、病理、病態、薬物治療、非薬物治療についての基礎的な知識を習得する。

・到達目標（SBO）

1. 血液・造血器における代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
2. 貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
3. 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
4. 播種性血管内凝固症候群（DIC）の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
5. ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
7. 甲状腺機能亢進症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
8. クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
9. 尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
10. 神経・筋に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
11. 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。
12. 代表的な精神疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
13. 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患の病態生理、検査法、適切な治療法について概説できる。
14. 前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。

・講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|---------|----------|--------------------------------|
| 4/16 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 血液・造血器系疾患（1） 正常の構造と機能、臨床検査法 |
| 4/23 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 血液・造血器系疾患（2） 貧血の病態と治療 |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|---------|----------|-----------------------------------|
| 4/30 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 血液・造血器系疾患（3） 白血病の病態と治療 |
| 5/7 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 血液・造血器系疾患（4） 出血傾向に関連した疾患の病態と治療 |
| 5/14 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 内分泌系疾患（1） 正常の構造と機能、臨床検査法 |
| 5/21 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 内分泌系疾患（2） 下垂体疾患の病態と治療 |
| 5/28 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 内分泌系疾患（3） 甲状腺疾患の病態と治療 |
| 6/4 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 内分泌系疾患（4） 副腎疾患の病態と治療 |
| 6/11 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 神経・筋疾患の病態と治療 |
| 6/18 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 精神疾患の病態と治療 |
| 6/25 | 火 | 1 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 生殖器疾患（1） 男性生殖器疾患の病態と治療 |
| 7/2 | 火 | 3 | 臨床医化学講座 | 那谷 耕司 教授 | 生殖器疾患（2） 女性生殖器疾患の病態と治療 |

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|--|-------------|---------------------------|------|
| 教 | 病気がみえる vol.5 血液 | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア (定価 3,000 円) | 2008 |
| 教 | 薬物治療学 改訂2版 | 吉尾 隆 他 編 | 南山堂 (定価 8,800 円) | 2013 |
| 参 | 病気がみえる vol.9 婦人科・ 乳腺外科 第2版 | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア (定価 3,000 円) | 2009 |
| 教 | 病気がみえる vol.7 脳・神経 | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア (定価 3,800 円) | 2011 |
| 参 | 病気がみえる vol.10 産科 第2版 | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア (定価 3,300 円) | 2009 |
| 教 | 病気がみえる vol.3 糖尿 病・代謝・内分泌 第3版 (薬剤治療学 I 教科書) | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア (定価 3,300 円) | 2012 |

・成績評価方法

期末試験、小テスト、レポート、出席などから総合的に評価する。

授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|-----------------------|----|---------|
| 講義 | iPad (Apple MC981J/A) | 1 | 講義資料の閲覧 |